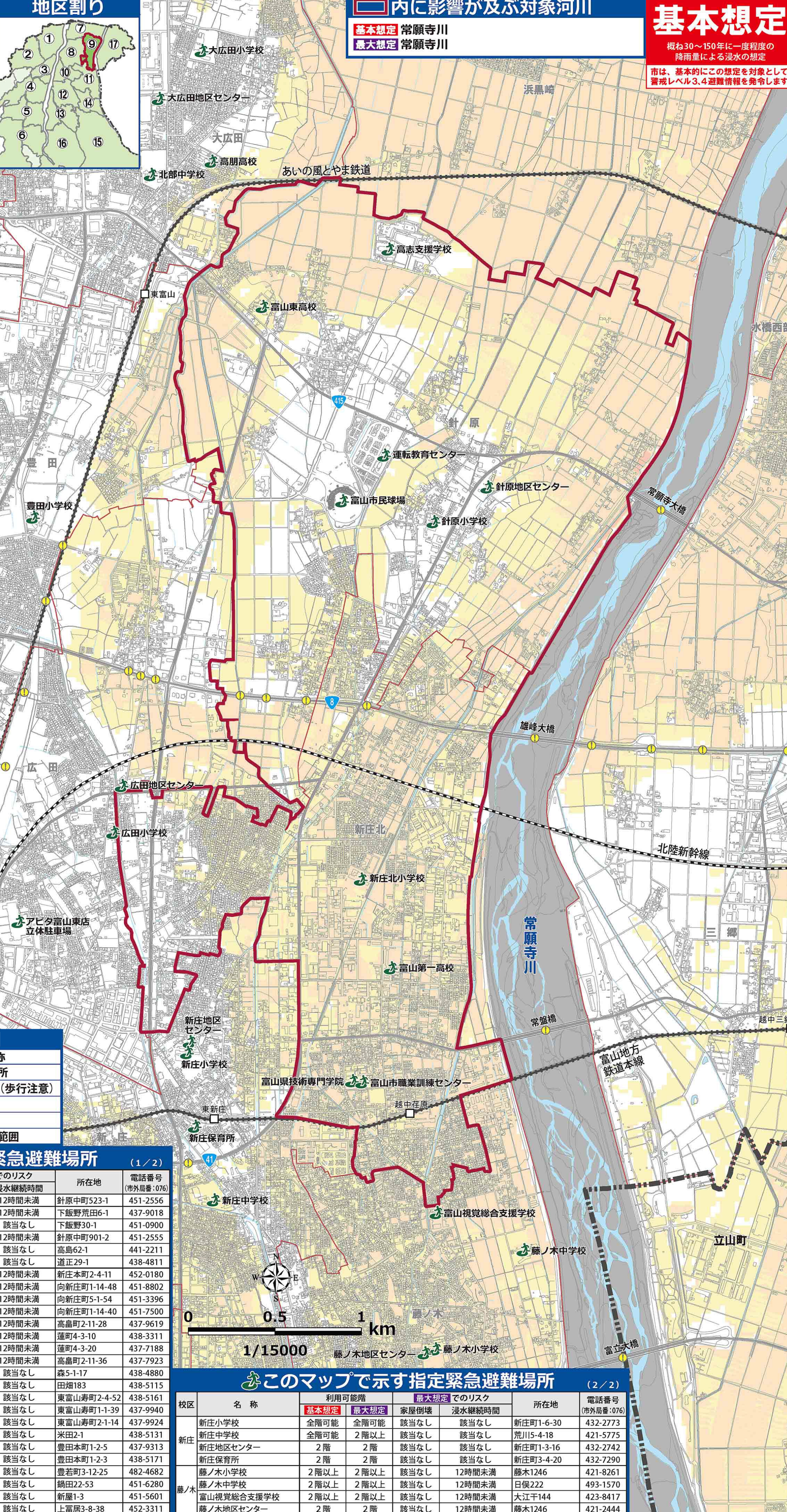
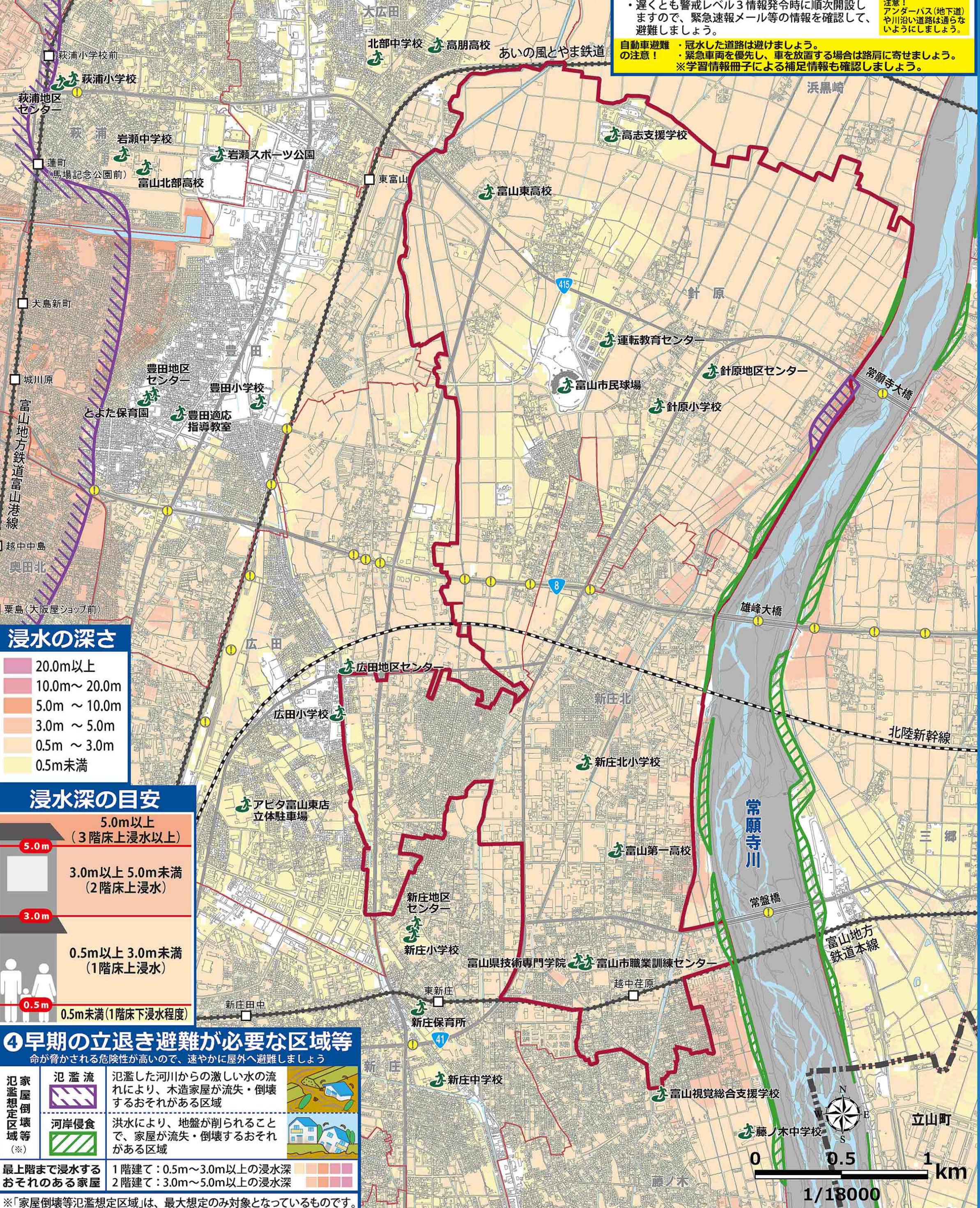


富山市洪水ハザードマップ

- ①はじめに読んでください。
- 洪水からの避難は、②避難情報等で段階的に呼びかけます。
 - このうち、**警戒レベル3、4の避難情報**は、降雨予測などの情報により、**【基本想定】(左図)**と**【最大想定】(右図)**のどちらかの想定を対象として、市が発令します。
 - まずは、**⑥避難行動確認フロー**で、それぞれの想定での、あなたのとるべき避難行動を確認しましょう。
 - 次に、避難経路を確認して、校区内外を問わず、安全に避難することが可能な複数の避難場所を想定しておきましょう。
 - ⑥情報の入手方法**を確認し、日ごろから操作に慣れるなど危険が迫った際に備えましょう。



基本想定 最大想定



②避難情報等 (5段階の警戒レベルと避難行動)

警戒レベル 1 早期注意情報

【気象庁が発令】

災害への心構えを高めましょう。(いざという時に備えて、情報の収集に努めましょう。)

警戒レベル 2 大雨注意報 洪水注意報等

避難行動を確認しましょう。(避難先、避難経路は決まっていますか。)

警戒レベル 3 高齢者等避難

危険な場所から^{※1}避難に時間を要する人^{※2}は、避難を開始。その他の人は、避難の準備をしましょう。

警戒レベル 4 避難指示

避難を開始してください。この時点で、危険な場所から^{※1}全員避難です。

〜警戒レベル4までに必ず避難!〜

警戒レベル 5 緊急安全確保

【富山市が発令】(可能な範囲で発令)

災害発生または発生直前です。命の危険が迫っているので、直ちに身の安全を確保してください。

※1 安全な場所にいる人は、指定緊急避難場所などへの立退き避難を行う必要はありません。安全な場所とは、下記の3つ全てに該当するものです。

- 氾濫流^{※3}または河岸侵食^{※4}に該当しない。
- 浸水の深さより自宅や施設などの居室が高い。
- 水がひくまでの時間(浸水継続時間)を我慢でき、水や食料などの備えが十分である。

※2 高齢の方、障害のある方など

災害用伝言ダイヤル「171」

録音 伝言の録音方法

171にダイヤル「1」をダイヤル

電話番号(市外局番から) 伝言が録音される

再生 伝言の再生方法

171にダイヤル「2」をダイヤル

電話番号(市外局番から) 伝言が再生される

⑥避難行動確認フロー

あなたの避難行動をチェック! ㊟

とるべき避難行動について確認し、緊急時のすみやかな避難につなげましょう。

(1) どちらの想定を対象とした避難情報で避難すればよいのか?

ここからスタート

基本想定(左図)で自宅などに着色^{※1}がある

はい

最大想定(右図)で自宅などに着色がある

はい

最大想定でも着色があるため、基本想定と最大想定どちらを対象とした避難情報が発令されても避難しましょう。

最大想定を対象とした避難情報が発令された場合も安心して情報収集に努めましょう。

(2) どのような行動をとればよいのか?

④早期の立退き避難が必要な区域等に該当する

氾濫流^{※3}・河岸侵食^{※4}・最上階まで浸水するおそれのある家屋

迷わず、指定緊急避難場所など安全な場所に避難

指定緊急避難場所など安全な場所に避難

浸水の影響のない自宅の上階に避難

外出を控え、情報収集に努めましょう

屋内安全確保

徒歩避難が困難な方などは、⑤早期長距離避難を確認しましょう。